

# 朝里町会

**朝里町会内で想定される災害の種類とその程度  
自主防災組織の取り組み  
について**

# 津波ハザードマップ (小樽市作成)





## 令和5年10月29日（日） 朝里中学校防災訓練（朝里中体育館）

- 小樽・朝里のまちづくりの会
- 民生委員
- 少年を守る会
- 朝里地区連合町会

が協力し、

- 小樽市役所災害対策室
- 陸上自衛隊第11特科隊

の協力を得て、

中学生・小学生・地域住民の  
約175人が集まって  
開催された。



朝里中学校の金田教頭先生から

- 朝里中学校の防災教育の取組
- 朝里地区の災害発生リスク
- 避難所内部

について説明

## 小樽市災害対策室 安藤主幹から 防災備品や備品保管場所の説明



朝里中3年生の生徒たちから  
災害学習で訪れた仙台市立荒浜小学校の  
様子や避難訓練の取組を報告



## 過去数年の自衛隊災害派遣状況

- ・平成28年熊本地震に係る災害派遣  
期間：H28.4.14～5.30  
派遣先：熊本県 人員：約814、200人
- ・台風10号に伴う大雨に係る災害派遣  
期間：H28.8.30～9.18  
派遣先：北海道、岩手県 人員：約3、795人
- ・平成29年7月九州北部豪雨に係る災害派遣  
期間：H29.7.5～8.20  
派遣先：福岡県、大分県 人員：約81、950人
- ・平成30年7月豪雨における災害派遣  
期間：H30.7.6～8.18  
派遣先：京都府、高知県、福岡県、広島県、岡山県、愛媛県、山口県、兵庫県 人員：約957、000人
- ・平成30年北海道胆振東部地震に係る災害派遣  
期間：H30.9.6～10.14  
派遣先：北海道 人員：約192、000人
- ・令和元年8月前線に伴う大雨に係る災害派遣  
期間：R1.8.28～10.7  
派遣先：佐賀県 人員：約32、000人
- ・令和元年房総半島台風に係る災害派遣  
期間：R1.9.10～10.4  
派遣先：千葉県、神奈川県 人員：約880、000人
- ・令和2年7月豪雨に係る災害派遣  
期間：R2.7.4～8.7  
派遣先：熊本県、福岡県、大分県、山形県 人員：約350、000人
- ・令和3年7月1日からの大雨災害派遣  
期間：R3.7.3～7.31  
派遣先：静岡県、島根県、熊本県、宮崎県、鹿児島県 人員：約23、000人

※人員は延べ人数

## 自衛隊札幌地小樽地域



苫小牧入港後、仙台港から輸送した陸自車両を降ろす輸送艦「おおすみ」

- ・平成29年7月九州北部豪雨に係る災害派遣  
期間：H29.7.5～8.20  
派遣先：福岡県、大分県
- ・平成30年7月豪雨における災害派遣  
期間：H30.7.6～8.18  
派遣先：京都府、高知県、福岡県、広島県、岡山県、愛媛県、山口県、兵庫県

- ・平成30年北海道胆振東部地震に係る災害派遣  
期間：H30.9.6～10.14  
派遣先：北海道
- ・令和元年8月前線に伴う大雨に係る災害派遣  
期間：R1.8.28～10.7  
派遣先：佐賀県
- ・令和元年房総半島台風に係る災害派遣  
期間：R1.9.10～10.4  
派遣先：千葉県、神奈川県
- ・令和2年7月豪雨に係る災害派遣  
期間：R2.7.4～8.7  
派遣先：熊本県、福岡県、大分県、山形県

- ・令和3年7月1日からの大雨災害派遣  
期間：R3.7.3～7.31  
派遣先：静岡県、島根県

※人員は延べ人数

陸自車両を降



# 災害図上訓練（地図を活用した避難訓練）・・・DIG



D=Disaster (災害)  
I=Imagination (想像)  
G=Game (ゲーム)



小樽市に「震度6弱」という大きい地震が起きたことを想定し、各自が想定する行動や、危険な場所等を地図に書き入れました

その後、  
地図を活用して  
自分たちの地域で  
災害時に活用できそうな場所  
(病院、薬局、避難所など)  
を確認し合いました





# 講話「災害時の医療の心得」 (小樽協会病院看護師による)





災害時に気を付けたい病気やケガ、食中毒の危険性などについての話がありました

熊本地震

直接死	55	関連死	197人
-----	----	-----	------

「地震のショック、余震への恐怖による肉体的・精神的負担」が約4割  
「避難所など生活の肉体的・精神的負担」が約3割  
「医療機関の機能停止などによる初期治療の遅れ」が1割強  
県の担当者は「慣れない環境での生活を長期間強いられたことが負担になった」と分析。

認定者の8割近くが70代以上で、約9割に既往症があった。死因は、肺炎など呼吸器系疾患(56人)と、心不全など循環器系疾患(55人)がそれぞれ約3割を占め、自殺は4番目に多かった。



訓練の最後には  
陸上自衛隊第11特科隊により  
災害時の炊き出しに使う用具を使用  
してご飯と豚汁をいただきました